

千葉南高校 保健室だより

令和2年度 第6号

今回もゲストさん投稿が続きます。なんだかリレーみたいになってきました！

第6号のゲストさんは、書道の小川先生です。3年生の相談係も担当しておられる、とてもお優しい先生です。小川先生の書かれた字を初めて拝見させていただいた時、「なんて美しい字なの！！」って感動しました。書道の授業での作品も、学校内にたくさん展示してくださっているんですよ。

新緑鮮やかな5月1日は新たな元号「令和」がスタートした日でしたが、本日（5月1日）県教育委員会から臨時休校を5月31日まで延長する通知が届きました。引き続き感染予防のために、外出自粛を余儀なくされました。

生徒の皆さんは、ご家庭でどのように過ごしていますか。

教員生活42年目の私は、想定外のことで皆さんに会えず、とても寂しい思いですが、それでも自粛中での生活をメリハリのあるものにと工夫しています。

もともと花が好きで、公園や庭園を観に行きたいところがありますが叶わず、我が家の狭い庭で草むしりや消毒がてら、花を愛でて心を癒しています。今は牡丹・ツツジが終わり、



バラの蕾が膨らんで開花待ち、蘭の新芽も伸びてきました。

久しぶりに始めたことが3つ、1つは30年ぶりにミシンを出してマスクを作ったこと。まずミシンのやり方がうる覚えでしたので、手間がかかりました。でも若い時にやったことは、なんとなく覚えているものですね。全部で8枚作りましたが、失敗の連続で、納得できたのは最後の1枚でした。失敗することでより良いものに改良を重ね、技術も身につけてきました。

2つめはクラシックを聴きまくっています。BGMとして流しているといった方が合っているかもしれません。

3つめは読書。テレビ対談で作家の角田光代さんに興味を持ってから、彼女の本を何冊か買いました。源氏物語の新訳も読んでみたいと思っています。

皆さんも、趣味や新たなことに挑戦して、生活のリズムを整えつつ、メリハリをつけて過ごしてください。そして1日も早く平常の生活に戻って学校生活が送れますことを、心より祈っています。

（書道科 小川淳子）

「新訳 源氏物語」

著者 角田光代 河出書房新社



源氏物語の著者、紫式部の歌が百人一首の中にあります。

「めぐりあひて 見しやそれとも
わかぬまに 雲がくれにし 夜半の月かな」

現代語訳：

久しぶりにめぐり会ったのに、それがあなたかどうかもわからない間に帰ってしまうなど、まるで（早くも）雲に隠れてしまった夜中の月ようではありませんか。